

大谷學報

第二十一卷 第三號

昭和五十年十一月一日發行

原始眞宗に於ける甲斐門徒の成立

日下無倫(一)

高野山本靈異記訓釋考

雨宮尙治(元)

往生要集と諸種の往生傳

一乘章二(三)

無相文雄師の逸著

龜田次郎(四)

山西平遙汾陽縣城調查手記

諏訪義讓(五)

新刊紹介(七) 研究室彙報(七四)

大谷大學

大谷學會

前 號 目 次

第二十一卷
第二十二號

梵文金光明經の校訂に就いて 泉 芳 璟

二種深信論の史的研究(中) 桑 谷 觀 宇

——特に後期學說の系統と其の展開——

曇鸞大師傳之研究 多 屋 弘

攝論宗の日本傳來に就て(承前) 富 貴 原 章 信

次 號 豫 告

第二十一卷
第四十二號

末那識の特性 山 田 亮 賢

搜神記私考 上 村 幸 次

中世に於ける歌道と佛道との接近

橘 純 孝

梵藏所傳の資俱舍論の註釋的研究(世間品)
料よりする

——特に玄奘譯の本文批判を中心として——

舟 橋 一 哉

二種深信論の史的研究(下) 桑 谷 觀 宇

——特に後期異安心界の展望——

ラ・ヴァレ・プツサンの生涯とその業績

名 畑 應 順 譯

大谷學會々則拔萃

第一條 本會ヲ大谷學會ト稱シ、事務所ヲ大谷大學内ニ置ク。
第二條 本會ハ佛敎學、哲學、史學、及ビ文學ニ關スル諸般ノ研究ヲナスヲ以テ目的トス。

第三條 本會ノ會員ハ大谷大學敎職員、學生及ビ本會ノ趣旨ニ賛同スル者ヲ以テ組織ス

第四條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ。

一、年四回雜誌『大谷學報』ヲ發行シ之ヲ會員ニ頒ツ。
二、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク。
三、隨時圖書ヲ出版ス。
第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク。

一、會長 一名
二、理事 二名
三、委員 若干名
第九條 會員ハ會費トシテ年額金參圓ヲ納ムベキモノトス。

大谷學會役員

會長	大須賀秀道	青山 摺網	山口 益
理事	朽木 廣覺	佐々木近衛	德重 淺吉
庶務委員	稻葉 秀賢	可西 大秀	道端 良秀
編纂委員	安井 廣成	阿部 現亮	正木 淨教
	鈴木 弘	大友 芳雄	佐々木近衛
	萬造寺 齊	山田 亮賢	
	一乘 章二	達朗	
	野上 俊靜		
會計委員	吉田嘉一郎		

正 誤

大谷學報第二十一卷第二號掲載の大谷大學文學部開講學科目及講義題目中百頁上段終りより二行目「佛敎學第四講座」の見出しは終りより五行目へ。終りより二行目「佛敎學第四講座」は「佛敎學第五講座」の誤り。下段初より三行目「佛敎學第五講座」は削除。夫々訂正致します。

昭和十五年十月二十五日印刷
昭和十五年十一月一日發行 (第二十一卷・第三號)

不許複製轉載

編輯者	大谷學會
右代表者	青山 摺網
印刷者	須磨 勘兵衛
印刷所	京都市北小路通新町西入
	大谷大學出版部
	京都市烏丸頭大谷大俱内

發行所 京都市烏丸頭 大谷大學内 大谷學會庶務部
電話西陣一六四〇番
振替大阪六七一八五番